

第1回宇部市新庁舎ユニバーサルデザイン意見交換会(午前の部)【会議録】

日 時 平成29年12月25日(月)10:00~12:00

場 所 宇部市役所2階 第1会議室

1 「宇部市新庁舎建設基本設計(素案)」について

2 意見交換 ※以下、要約

1 駐車場について

参加者： 障害者等用駐車場に屋根を設けてもらいたい。

設計者： 屋根を付ける計画としている。

参加者： 現在の駐車場は係員が常時いるため、障害者等用駐車場を無断で使用する人も居らず助かっている。また、1人で利用する場合も係員が居れば、職員に連絡が取りやすい。

市： 新庁舎への係員の配置については、運用の面で市が検討を行う。

参加者： 駐車場から庁舎入口までの距離は近い方がよい。

参加者： 過度に障害者対応しすぎると、逆の差別が発生するので注意してほしい。

参加者： 1人で一般駐車場を利用する場合があるが、ゲートでチケットを受取ることが難しい。ETC等で対応出来ないか。

設計者： メーカーに確認する。

2 敷地入口、屋外の誘導・案内について

参加者： 2期庁舎完成までの入口はどうなるか。

設計者： 北側の1ヶ所となる。
出入口は基本的には自動ドアとし、扉幅は1.5m以上確保する。

参加者： 高齢化が進んでおり、市営バスを利用して来庁する人も多くなるため、公道から市庁舎にアクセスできるよう誘導ブロックや表示等を計画してほしい。

参加者： 高齢者の中にはすり足で歩く人もおり、くつ拭きマットは逆につまずく可能性がある。また、雨天時等に滑りやすい床仕上げで警戒して歩いていると、そこから滑りにくい床仕上げに入った時に、逆につまずくおそれがあるので、仕上げの境目を工夫してほしい。

設計者： 福祉のまちづくり条例で規定されている滑りにくい材料などの仕様については十分に配慮を行う。

3 屋内の案内・誘導について

参加者： 電光掲示板などで、文字等見てわかるものがよい。

参加者： フロア案内の図は文字の大きさや明度に注意。

参加者： 他市から来られた方にもわかりやすくする。

参加者： 知的障害者等の方もいるので、図面化（ピクト化）した表示も必要。

設計者： サインは、今後の意見交換会で、実際に紙で作成してみて、見やすさや高さなどを確認していただきたいと考えている。

参加者： 緊急時の聴覚障害者の誘導には、フラッシュやパトライトが有効。

参加者： 緊急時の避難誘導で地面が光るタイプなど、階段やエレベーター以外にも避難方法を考えてほしい。（聴覚・視覚障害者にも情報が届く工夫が必要）

4 カウンターについて

参加者： 現在の障害福祉課のカウンターは、車いすで使用する際、高さはよいが奥行きが浅い。あと 10cm ほど奥行きが欲しい。

参加者： ヘルパーの方と 2 人で訪問する場合もあるため、2 人分のスペースが必要、又プライバシーに配慮してカウンターに仕切りを設置してほしい。

参加者： 面談室等に行く通路幅に関しても、車いす等への配慮が必要。

市： 窓口カウンターの近くに入りやすい相談室が必要。

参加者： 車いすで使用するカウンターの高さは、職員と同じ目線となるよう低い方がよい。見下ろされるカウンター対応は避けてほしい。

参加者： 福祉関係以外の課のカウンターについても、市営住宅や証明書発行の手続き等で訪れることもあるため、考慮してもらいたい。

参加者： 電動車いす、手動車いす等、種類によってカウンターの最適な高さは変わるため、調整が必要。

5 エレベーターについて

参加者： 火災時等で電気が来ない場合でも、避難できるよう検討してもらいたい。

設計者： 1 台は非常用発電で動くよう計画する。

参加者： 2 期棟屋上に上がる事は可能か。

- 設計者： 2期棟エレベーターが屋上まで上がる予定。
エレベーターの大きさは福祉のまちづくり条例の135cm×140cm以上を確保する。
- 参加者： 電動車いす等大型化しているため、回転半径が大きい。又片輪のみ回転、左右が逆回転などの種類があるので検討してもらいたい。
- 参加者： 付き添いが車いすの事もあり、2～3台が入れる広さがほしい。
- 参加者： エレベーターの数はどのようになっているのか。
- 設計者： メインで使用するものは2基。使用人数等から台数を決定している。
- 参加者： 聴覚障害者からはエレベーター内に電光掲示板などを採用してほしい。
- 設計者： 近年設置する傾向があり、検討する。
- 参加者： 閉じ込められた時の対策として、聴覚・視覚障害者にも情報が伝わるような工夫（設備）を取り入れてほしい。（故障 or 災害がわからず不安）
- 参加者： エレベーター内での回転スペース等、本当にエレベーターを必要とされている方に使ってもらえるスペースは確保してもらいたい。
- 設計者： エレベーターはメーカー規格品であり、できるかぎりメーカーと協議して代替措置も含めて検討を行う。

6 トイレについて

- 参加者： 多目的トイレに大人用のおむつ交換台を設けてもらいたい。
- 参加者： オストメイトは利用する人によって要望が異なる。私の場合は一般トイレの洋式便器を利用してパウチ処理を行っており、現在は和式便器しかないので、使いづらい。
- 参加者： 車いすから便座に移る際、人によって左右乗り移る方向が異なる。何ヶ所かに設けるなら、仕様（向き）が異なる多目的トイレを計画してほしい。また、コンビニのように入口から90度の向きに便器を設けると使いにくい。
- 参加者： 男性、女性別々の多目的トイレを設けてもらいたい。
- 参加者： 介助者と一緒に多目的トイレに入る際に、カーテンなどの仕切りがあると排泄がしやすい。
- 参加者： アメリカでは個室がもともと広く設けられており、あえて車いす用のトイレは必要なかった。災害時等は、色々な人が使用することになるので良いと感じた。